

第 1 1 回 市 民 参 加 推 進 委 員 会 会 議 録 (概 要)

- 1 日 時 平成 2 6 年 7 月 1 4 日 (月) 午 前 1 0 時 ~ 正 午
- 2 場 所 流 山 市 役 所 第 2 庁 舎 3 0 1 会 議 室
- 3 出 席 委 員 井 原 委 員 長、今 村 委 員、上 平 委 員、梅 谷 委 員、
野 路 委 員、国 府 田 委 員、和 田 委 員、山 中 委 員、
山 梨 委 員
- 4 欠 席 委 員 吉 永 副 委 員 長
- 5 事 務 局 渋 谷 課 長、須 郷 課 長 補 佐、竹 之 内 係 長、
影 山 主 査、内 田 主 事
- 6 協 議 事 項
 - (1) 事 業 評 価 シ ー ト に つ い て
 - (2) 答 申 (案) に つ い て
 - (3) そ の 他
- 7 協 議 内 容 別 紙 の と お り

(1) 事業評価シートについて

「流山市農業振興基本指針」の評価シート（案）についての協議が行われたが主な意見は次のとおり

市民参加の方法選択について

- ・アンケート調査の選択は、理解できる。
- ・パブリックコメントは、全市民的に意見聴取できるものであるため行うべきと考える。よって、農政課はパブコメをやめるのではなく、プラス審議会という選択をすべきではなかったか。
- ・一般市民と農業従事者を分けてアンケートをしたが、一般市民の回答率は低かった。一般市民は農業について意識が低かったと判断し、専門家のいる審議会へ切り替えたと解釈しているため評価したい。
- ・手法を切り替えたことについて、市民に公表すべきである。手法について外部組織としてチェックする機能はないのか。

市民参加手法の選択は、事業担当課であるため、その手法についてチェックする機能（課）はない。

- ・市民参加推進委員会は、チェック機能を持っていると理解している。機能を市に求めるのはどうかと考える。
 - ・条例ができて2年たつので、職員が日常から市民参加についてもっと考えるべきであり、気づくこともあるのではないかな。
 - ・この委員会はオンブズマン組織ではないので、実施されたものの評価をする役割なので限界はあると思う。ただ、HP等で説明する必要はある。
 - ・回収率が低いといのうは何をもってそうしたのか、また回収率が低いから全体をカバーしていないという評価をしていいのかな。
 - ・アンケートの回答内容をみると、良いことを書いていた。そのため、数字（回答数）だけで評価するのはいかがかと思った。つまり量だけでなく質も考慮すべきと感じている。
 - ・アンケートの内容だけでなく、実施方法も検討すべきである。
- （委員会としての意見）

- ・パブコメは数が少ないからいけないという訳ではない。
- ・アンケートは量より質も考慮すべき。
- ・農政課のアンケート回答の指針が明確でないために、市内のどこにアンケート回答対象者がいるかまで絞れていなかったがための低回答数だと感じる。（例えば、購入者なのか、子育て中のママなのか、販売者なのか）
- ・アンケートは対象者、実施方法、質問内容を工夫すべき。
- ・積極的に意見を聴取しにいく面接、ヒアリング調査のような方法を考えてもよい。（運河の直売所など）

市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

- ・実施時期は、行政本位でなく、農閑期にすべき。
- ・若干後追いの感が否めない。（計画的に、臨機応変の対応はしているが場当たりの的に見える。） 事務局による表現訂正要

事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

- ・アンケートに対する内容説明会や意見交換会をしながらのアンケート記入会のようなものを開催すれば、アンケート回収率が上がったのではないかな。

市が主催するとアンケート回答に偏りが出てきてしまうのではないかという懸念がある。

- ・アンケートは内容操作の可能性がぬぐえないので、設問に市民の視点を入れて作成すべきである。
- ・情報発信方法は、広報、HPのような形式的なものではなくて市民活動団体、市民農園（440名・480区画）を借りている方などにもすべきだ。
- ・市民の意識の低さもあるとは思われるが、市民側・行政側だけの責任でもない。
- ・情報提供の仕方は、生産者と消費者とに分けて、対象者をきめ細かく設定すべきである。

改善点について

- ・市民が積極的に市民参加するように行政側が意識を変えていくべきである。
- ・「その他の効果的と認められる方法」をうまく活用し、担当課独自の工夫で盛り込んでほしい。

評価について

- ・ C 評価 7 名 B 評価 2 名 委員会としては C 評価。

(2) 答申 (案) についての意見

- ・別紙「答申 (案)」のとおり

(3) その他

- ・答申 (案) も評価シートをベースに作成しているため、再度作成しメールで送付する。
- ・答申の評価の空欄部分には、A B C D 評価を入れた方が良い。
- ・次回の委員会は、9 月 1 日 1 5 時 ~ 1 7 時とする。